

大湾区情報 No. 32

グレーターベイエリア情報 発行：2022年3月29日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【人民元が大湾区の最大のクロスボーダー決済通貨に】](#)

[【香港・マカオの証券プロフェッショナル人材が広州・深圳で業務可能に】](#)

[【東莞浜海湾の質の高い発展のための新エンジン】](#)

[【関連記事】2022/23年度香港財政予算案及び今後の見通し](#)（青葉ホームページ）

【人民元が大湾区の最大のクロスボーダー決済通貨に】



中国人民銀行の公式サイトによりますと、同銀行のガイダンスにより、大湾区の銀行に対し、クロスボーダー人民元ビジネスの業務プロセスを簡略化するために、ホワイトリスト制度を導入し、優良企業は事前に一つ一つ書類を提出する必

要がなくなり、支払い指示を出すのみで直接クロスボーダー資金決済を行うことができ、信用度の高い企業ほどより決済の利便性が高まることになりました。**2021** 年末までに **1,000** 社近くの優良企業がこの政策の恩恵を受け、大湾区のクロスボーダー人民元決済規模は **2021** 年に **3 兆 8,000 億** 人民元に達し、人民元は大湾区において最大のクロスボーダー決済通貨となりました。

また、**2021** 年 **9** 月には「クロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト（跨境理財通）」のパイロットスキームが正式にスタートし、大湾区内の中国本土居住者は香港・マカオで債券やファンドなどの投資商品を購入でき、また、香港・マカオの居住者は中国本土の資産管理商品やファンドを購入できるようになりました。パイロットスキームを開始して以来、市場関係者は積極的に反応し、**2021** 年末には大湾区の住民 **2** 万人以上、及び **60** 行以上の銀行がトライアル運用に参加しました。

口座開設の円滑化に焦点を当て、香港とマカオの居住者が中国本土に直接足を運ぶ必要なく、中国銀行（BOC）香港と中国工商银行マカオを通じて遠隔で口座を開設できるように、口座開設のトライアルスキームも開始されました。**2021** 年末までに、香港・マカオの居住者がエージェント立会により開設した中国本土の個人口座は **18** 万件、累計取引額は **60** 億人民元となりました。なお、モバイル決済を促進するため、香港・マカオ版クラウドクイックパス（雲閃付）ウォレット、アリペイ（香港）電子財布、WeChat ペイ（香港）電子財布、BOC マカオモバイルバンキング、澳門通（マカオパス）Mpay ウォレットなどの大湾区での利用を促進し、香港珠海マカオ大橋や入境ビザの費用支払いなど、モバイルクロスボーダー決済アプリの機能開発に注力しました。**2021** 年末までに、これら **5** つのモバイル決済アプリにて約 **926** 万件の取引が行われ、金額は約 **15** 億人民元に達しています。

【香港・マカオの証券プロフェッショナル人材が広州・深圳で業務可能に】



最近、中国証券業協会は「中国本土外の証券専門家が上海市、海南省、重慶市、杭州市、広州市、深圳市で業務を行うための特別手続きの実施に関する通知」（中証協発（2022）30号、以下「通知」）を発表しました。上海市、海南省、重慶市、杭州市、広州市、深圳市において本土以外の証券専門人材が業務を行うための特別な手続きについて、具体的な取り決めがなされています。

「通知」は、所在地での居留許可を持ち、現地で登録されている証券会社、証券投資顧問会社、もしくは証券格付会社に雇用されており、中国証券監督管理委員会(中国証監会)との間に「証券先物監督管理協力に関する覚書」を過去3年以内に締結した国・地域で証券業務を行う資格を持ち、中国本土以外の金融・証券監督管理当局から処罰を受けたことがない本土以外の証券専門人材は、雇用された会社を通じて、特別な手続きにより中国証券業協会へ実務資格登録を行うことにより、本土外での実務経験を中国本土内での実務経験として扱うことができるというものです。

「通知」によりますと、北京市、上海市、海南省、重慶市、杭州市、広州市、深圳市のファンドマネージャー、ファンドカストディアン、ファンドサービスプロバイダーに雇用され、上記地域でファンド業務活動に従事し、すでに本土外ファンド実務の関連資格を保有している中国本土以外の専門人材は、専門知識に関わる試験を受ける必要なく、中国証券投資基金業協会が中国で実施する「ファンド法律法令、職業倫理、実務規範」試験に合格すれば、登録ファンド実務資格の申請が可能となります。

「通知」の付属文書によると、香港とマカオはいずれも中国証監会と「証券先物監督管理協力に関する覚書」を締結しています。つまり、香港・マカオ籍の関連要件を満たしている証券プロフェッショナル人材は、大湾区内の広州市と深圳市で業務を行うことができることを意味しています。

「大湾区開発計画概要」を含む多くの文書が、香港・マカオ籍の専門家が大湾区地域の都市で開業することを促進する指針を示しており、広東省および各都市も、香港・マカオ籍の専門家を受け入れ、大湾区での開業を促進する関連政策を公表しています。今回中国証券業協会が発表した「通知」により、大湾区内の都市における香港・マカオ籍専門家のクロスボーダー業務がさらに促進され、共同での大湾区建設が推進されています。

【東莞浜海湾の質の高い発展のための新エンジン】



旧正月休暇後、浜海湾は 2022 年に投資総額 100 億人民元の大型産業プロジェクトを誘致し、61 億人民元の固定資産投資を完成し、交通道路網、教育、文化体育、生態環境などの分野を網羅する投資総額 65 億人民元の 16 の新規プロジェクトを立ち上げる計画を立てています。

大湾区における新たな総合環境ハブを構築

「東莞市 2022 年主要プロジェクト計画」には、浜海湾新区の計 19 プロジェクトが含まれており、そのうち水利、道路、民生の三大分野を中心に 11 の都市関連インフラプロジェクトが年内に完成・稼動予定となっています。

東莞大通（交椅湾区間）工事現場では 7 月まで工事が行われ、この交椅湾を横断するパイプラインが開通し、浜海湾の交通網がさらに整備され、リソースの迅速な流れを促進します。

また、浜海湾では、より住みやすく、暮らしやすい街づくりのために、質の高い生活施設の建設を加速していきます。待望の浜海湾外国語学校は、6月に着工し、総投資額は約9億3千万人民元、2024年9月の開校を目指しています。スマートシティ管理センターを中心に、交椅湾における数々のスマートシティモデルの実証と応用を加速させます。

今年は投資総額 100 億人民元超の大型産業プロジェクト誘致を目指す

今年も浜海湾新区は継続して投資誘致を行うことに重点を置き、投資総額 100 億人民元以上の大型産業プロジェクト誘致を目指します。産業建設に関しては、OPPO スマート製造センター、Vivo スマートターミナル総本部、小天才スマートテクノロジーセンター一期、欧菲光 (OFILM) 映画映像産業プロジェクト、正中科学園など建設中の 6 つの産業プロジェクトに対し、今年 23 億 8,000 万人民元の投資が完了する予定となっています。交椅湾中部地区にそびえる「グリーンビルディング」、ここは OPPO スマート製造センターであり、浜海湾新区で最も早く建設された主要産業プロジェクトになります。

現在、スマート生産工場の建設は 85%、寮および付帯建設の建設は 70% 完成しており、今年の 5 月末にはすべて上棟の予定です。OPPO スマート製造センターが完全に建設完成し稼働したあかつきには、年間生産額は 200 億人民元を超え、より多くのハイエンド人材を引きつけ、大湾区の人材ハブを構築することができます。

大湾区大学（浜海湾キャンパス）の第一期設計プロジェクトが、まもなく入札募集を開始します。大湾区大学（浜海湾キャンパス）の第一期プロジェクトは、敷地面積が約 500 畝（ムー）、総建築予定面積が 169,000 平方メートルとなっています。キャンパスは、広州・深圳・香港・マカオ科学技術イノベーション回廊の中核地域に位置し、イノベーション資源に富んでおり、将来の急速な変化に対応し、大湾区の科学技術発展を支援・先導するハイエンド人材の育成に注

かし、東莞市、さらには大湾区における人材ハブとイノベーション資源の集中基地の構築に貢献していきます。

浜海湾の生態環境の質もさらに向上

総投資額 13 億 9,500 万人民元の交椅湾新河プロジェクトが入札募集を完了し、3 月中～下旬に着工の予定です。交椅湾新河は、交椅湾と長安鎮南部の接合部に位置し、全長は 5,240 メートル、完成後は両地域の洪水調節、潮汐調節、排水システムを改善し、水環境と水生生態の管理が強化されます。

浜海湾は引き続き「双区（大湾区と深圳先行示範区）」と「2 つの協力区（横琴と前海）」の建設に参加し、深圳先行示範区、前海深圳香港協力区、中山翠亨新区などとの戦略的交流を強化し、対外開放と地域協力のモデルとして、東莞、香港、マカオ、台湾との協力を深めるモデルの構築に努めたいと考えています。

【参考資料】

- [・人民元が大湾区の最大のクロスボーダー決済通貨に](#)
- [・香港・マカオの証券プロフェッショナル人材が広州・深圳で業務可能に](#)
- [・東莞浜海湾の質の高い発展のための新エンジン](#)